



# と い ち

平成24年4月27日  
新宿区立戸塚第一小学校  
校長 小林 幹 夫  
No.2

## 多くの人に支えられて

校 長 小林 幹夫

今学校では、桜の花に変わり、大小色とりどりの鯉のぼりや吹き流しが子どもたちを迎えています。風になびく鯉のぼりを見つめながら、子供たちは、「わあ、すごい」「きれい」など歓声をあげています。

5月5日は、「こどもの日」です。こどもの日は、子どもの人格を重んじ、子どもの幸福を図るといふ趣旨があります。学校（園）では、「こどもの日」に合わせ校庭に鯉のぼりを掲げ、子供たちを祝い、豊かな成長を願っています。昔から5月5日を端午の節句（月の端（はじめ）の午（うま）の日という意味）として、武家も町家も男女ともにこの日（五節句の一つ）を祝うようになったようです。時代によって、5月は菖蒲（しょうぶ）の季節であることから「菖蒲の節句」ともいわれ、菖蒲やよもぎを軒につるし強い香気での邪気払いや、菖蒲湯に入るとことで無病息災を願うなどの風習もあります。また、「菖蒲」を「尚武（しょうぶ）」という言葉にかけて、勇ましい飾りをして男の子の誕生と成長を祝う「尚武の節句」と考えるようになったともいわれております。鯉は、滝を上るほどの勢いがよいことから縁起物として、出世や健やかな成長を願う親の気持ちが託されていると言われております。また、柏餅やちまきを食べることも多いと思っておりますが、柏餅は「家督が絶えない」縁起物とされているとのことです。

戸一小の子供たちの周りには、保護者をはじめ、学校の教職員、PTA各委員会、さらには交通安全見守りの学童擁護員、校内の安全を見守る学校安全管理員、本の読み聞かせなどの図書ボランティア、屋上緑化グリーン同好会、放課後の安全な居場所のための放課後子ども広場、育成会開催の各種行事など、多くの方々が子供たちの見守りや支援を行い、立派に成長することを願っています。各家庭においても、こどもの日を迎えるに当たり、子供たちは様々な方々に支えられているからこそ、安心して楽しい学校生活を送ることができていることをぜひお話してください。そして子供たちが、自らの目標の実現に向かって、これからの学校生活を一層充実させることができるよう支援していただきたいと思っております。

## 1年生を迎える会



4月16日（月）の朝、1年生を迎える会がありました。

今年は、69名の新入生が戸塚第一小学校へ仲間入りしました。6年生と手をつないで花のアーチをくぐって入場する1年生は、ちょっぴり恥ずかしそうでしたが、とても嬉しそうでした。

発表後には、1年生からも大きな声で感謝の言葉がありました。1年生は、お礼に『1年生になったら』を歌いました。リズムに合わせて体をゆらし、とてもかわいらしかったです。

この会の進行にあたって、計画委員会の6年生は、昨年度から準備を進めていました。1年生だけでなく、全校が楽しめるようなゲームを考えていました。とても楽しい、素敵な時間を過ごすことができました。



## 5月の行事予定

日	曜	朝会・集会	学校行事等	下校
1	火		遠足(5・6) 視力(1)	3:35
2	水		離任式(※13:40~14:25)	2:40
3	木		憲法記念日	
4	金		みどりの日	
5	土		こどもの日	
6	日			
7	月	朝会	移動教室説明会(6)15:00~	3:35
8	火		安全指導 尿検査(2次) 遠足予備日(5・6)	3:35
9	水		尿検査(2次追加)	2:25
10	木	たて①	午前授業 避難訓練	1:20
11	金	音楽②	委員会 ※木曜日が校内研のため委員会あり	3:35
12	土			
13	日			
14	月	朝会	PTA総会16:00~	3:35
15	火			3:35
16	水		早時程 午前授業 心音心電図(1・他)	1:05
17	木	クラス紹介	歯科検診(2・4・6・幼) クラブ	3:35
18	金		遠足(3・4)	3:35
19	土		ふるさとまつり	
20	日			
21	月	朝会		3:35
22	火		内科健診(2・4・6・幼)	3:35
23	水		館山移動教室(6)始	2:25
24	木		給食試食会 歯科検診(1・3・5)じっくり	3:35
25	金		館山移動教室(6)終 プラネタリウム(2)9:30開始	3:35
26	土			
27	日			
28	月	朝会	教育実習始(~6/15) 内科健診(1・3・5)13:00~	3:35
29	火	運動②	眼科検診(全)13:30~	3:35
30	水		遠足(1・2)	2:25
31	木	読み聞かせ	クラブ	3:35

## 生活指導について

本校には、「戸一の子ども」というきまりがあります。登校から下校まで、さらに下校後の生活、その他にわたって9項目。内容は、毎年、児童の実態に合わせて見直していますが、多くの項目はいつの時代においても望ましい学校生活を送るために大切に受け継がれていく項目です。

年度の初めには、各クラスで「戸一の子ども」についての指導をします。その後は、月ごとの重点目標に従って、より具体的に指導していくこととなります。

「時刻を守ろう」「廊下を静かに歩こう」など、少し気をつければできそうなことばかりですが、子供達に日常的に身に付けさせることは、そう簡単ではありません。なかなか身に付かないと、それをその子供の性格の特徴や教師や家庭の指導力の問題として片付けてしまいがちです。きまりや約束を守るとは社会生活をみんなが快適に送るため、人間同士が信頼感をもって温かく関わるために、不可欠で重要なことであると、まず周りの大人達が認識し、共通に指導していくことが大切と考えています。

## 自分の命は自分で守れるように ～避難訓練～

首都直下型地震の起こる確率や想定される被害の状況などが各メディアを通じて発表され、防災への意識も高まっていることと思います。

小学校では、消防署や警察署とも連携を図りながら、地震や火災の発生、不審者への対応など、さまざまな場面を想定した避難訓練を月に一度実施し、児童が安全に避難できるよう備えています。また、煙体験(5年生)や起震車体験(6年生)、消火器訓練も実施し、より体験的に訓練ができるような計画もしています。

4月の避難訓練の際には、登下校中に地震にあった場合はどのように行動したらよいのか話し合いました。「大きく揺れているときは周りの安全を確かめてしゃがむ」「登校中は学校へ」「下校中は家へ」を基本にしていますが、より安全な行動をとる判断力が求められます。

ご家庭でも、通学路や遊び場、家の中での身の守り方を具体的に話し合い、一人でいるときにも適切な行動がとれるよう備えてください。

## 5月の生活目標

すすんで  
あいさつをしよう